



平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 マイスターエンジニアリング
 コード番号 4695 URL <http://www.mystar.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(氏名) 菊地 幸雄
 (氏名) 田谷 徳人
 配当支払開始予定日

TEL 043-296-1171

平成20年12月17日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	8,021	—	235	—	263	—	89	—
20年3月期第2四半期	7,428	7.4	155	8.6	191	10.7	78	10.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	9.81	—
20年3月期第2四半期	8.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	8,869	6,469	71.9	699.01
20年3月期	9,345	6,500	68.6	703.31

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 6,374百万円 20年3月期 6,413百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	3.5	750	3.4	800	3.4	360	10.5	39.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

※詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

※詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 9,125,000株 20年3月期 9,125,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 6,199株 20年3月期 6,199株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 9,118,801株 20年3月期第2四半期 9,118,801株

1. 上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】の「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題の余波を受け、円高、株安、原材料高、金融不安の四重苦に陥り、国内景気への影響が強まり、企業収益の悪化、設備投資の抑制及び雇用情勢の悪化が鮮明になってまいりました。

このような状況の中、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化し、不透明感が拡大してまいりました。

メカトロ関連事業におきましては、主要顧客である半導体業界の業績低迷が顕著となり、業界全体の設備投資の抑制などによる業績不振の影響も出てまいりましたが、以前から取り組んでおります新規顧客の開拓も進展し始め、また、フィールドのみならず設計開発業務にも注力した結果、売上高は3,198百万円（前年同期比2.0%増）となりました。ファシリティ関連事業におきましては、主要顧客である賃貸オフィスビル業界は、外資の引き上げや金融機関の貸し渋りなどによる不動産業界の不振のあおりを受け、厳しい状況が継続しておりますが、各種設備工事の活発な受注に加え、ホテルの運営管理受託が順調に推移した結果、売上高は3,628百万円（前年同期比14.7%増）となりました。また、コンテンツサービス事業におきましては、主力のホール部門、イベント部門とも運営管理受託が堅調に推移し、売上高は1,194百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,021百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は235百万円（前年同期比50.9%増）、経常利益は263百万円（前年同期比37.9%増）、四半期純利益は89百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

なお、前年同期比増減率は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は8,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ475百万円減少いたしました。流動資産は4,941百万円となり、344百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の476百万円の減少及び受取手形及び売掛金の101百万円の増加等であります。固定資産は3,928百万円となり、130百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の110百万円の減少等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は2,400百万円となり、前連結会計年度末に比べ444百万円減少いたしました。主な要因は、買掛金の331百万円の減少及び未払法人税等の91百万円の減少等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は6,469百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。主な要因は、配当金の支払い91百万円、四半期純利益89百万円の計上及びその他有価証券評価差額金の37百万円の減少等であります。

(2) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ477百万円減少し、2,405百万円となりました。

営業活動の結果、使用した資金は326百万円となり、これは主に税金等調整前四半期純利益221百万円、売上債権の増加額101百万円、仕入債務の減少額331百万円及び法人税等の支払額216百万円等によるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は52百万円となり、これは主に有形固定資産の取得による支出57百万円等によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は97百万円となり、これは主に配当金の支払額91百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、概ね平成20年8月1日に修正公表いたしました予想どおり推移しており、今後の業界動向を踏まえて検討いたしました結果、平成20年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想について変更はございません。

なお、上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産については、従来、主として最終仕入原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法）により算定しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,469,735	2,946,670
受取手形及び売掛金	2,093,362	1,992,260
原材料	5,732	4,479
仕掛品	28,899	22,018
未成工事支出金	43,776	49,847
貯蔵品	27,720	27,979
その他	294,501	247,639
貸倒引当金	△22,219	△4,460
流動資産合計	4,941,509	5,286,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,131,265	1,125,435
土地	1,087,070	1,087,070
その他(純額)	76,611	73,155
有形固定資産合計	2,294,947	2,285,661
無形固定資産		
のれん	190,686	238,277
その他	58,897	59,538
無形固定資産合計	249,583	297,816
投資その他の資産		
投資有価証券	495,324	605,968
差入保証金	466,886	469,844
その他	449,564	423,914
貸倒引当金	△28,050	△24,475
投資その他の資産合計	1,383,724	1,475,252
固定資産合計	3,928,255	4,058,730
資産合計	8,869,764	9,345,165

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	449,000	780,102
短期借入金	43,500	50,000
未払法人税等	143,305	235,060
賞与引当金	413,435	391,230
その他	558,999	643,747
流動負債合計	1,608,241	2,100,140
固定負債		
退職給付引当金	594,923	580,398
役員退職慰労引当金	44,523	45,633
長期預り保証金	152,666	118,366
固定負債合計	792,112	744,398
負債合計	2,400,353	2,844,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	981,662	981,662
資本剰余金	956,962	956,962
利益剰余金	4,364,324	4,366,058
自己株式	△3,099	△3,099
株主資本合計	6,299,849	6,301,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,316	111,772
評価・換算差額等合計	74,316	111,772
少数株主持分	95,244	87,271
純資産合計	6,469,411	6,500,627
負債純資産合計	8,869,764	9,345,165

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	8,021,304
売上原価	6,580,587
売上総利益	1,440,717
販売費及び一般管理費	1,205,529
営業利益	235,187
営業外収益	
受取利息	2,245
受取配当金	3,751
受取補償金	5,796
助成金収入	13,565
匿名組合投資利益	7,090
その他	6,712
営業外収益合計	39,161
営業外費用	
支払利息	2,352
支払補償費	5,542
匿名組合投資損失	1,788
その他	711
営業外費用合計	10,394
経常利益	263,954
特別損失	
投資有価証券評価損	42,800
特別損失合計	42,800
税金等調整前四半期純利益	221,154
法人税等合計	123,726
少数株主利益	7,973
四半期純利益	89,454

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	221,154
のれん償却額	47,591
減価償却費	53,624
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,205
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,524
その他の引当金の増減額 (△は減少)	20,224
受取利息及び受取配当金	△5,996
支払利息	2,352
投資有価証券評価損	42,800
売上債権の増減額 (△は増加)	△101,102
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,803
仕入債務の増減額 (△は減少)	△331,101
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△35,915
預り保証金の増減額 (△は減少)	34,299
その他の資産の増減額 (△は増加)	△50,390
その他の負債の増減額 (△は減少)	△36,465
その他	5,707
小計	△113,290
利息及び配当金の受取額	5,999
利息の支払額	△2,352
法人税等の支払額	△216,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	△326,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△88
有形固定資産の取得による支出	△57,781
差入保証金の差入による支出	△6,693
その他	11,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,500
配当金の支払額	△91,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△477,022
現金及び現金同等物の期首残高	2,882,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,405,263

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:千円)

	メカトロ 関連事業	ファシリテ イ関連事業	コンテン ツサービ ス事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,198,647	3,628,004	1,194,652	8,021,304	—	8,021,304
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	447	12,294	12,741	(12,741)	—
計	3,198,647	3,628,451	1,206,947	8,034,046	(12,741)	8,021,304
営業利益	221,215	75,109	83,606	379,931	(144,743)	235,187

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、市場の類似性により区分しております。

2. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等」4.(3)②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益に与える影響額は軽微であります。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)においては、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載は省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		7,248,087 100.0
II 売上原価		5,982,971 82.5
売上総利益		1,265,115 17.5
III 販売費及び一般管理費		1,109,221 15.3
営業利益		155,894 2.2
IV 営業外収益		
1. 受取利息	1,976	
2. 受取配当金	5,323	
3. 企業誘致助成金	10,601	
4. 雇用開発助成金等	4,245	
5. 賠償責任保険収入	2,470	
6. 匿名組合投資利益	8,508	
7. 雑収入	8,323	41,449 0.6
V 営業外費用		
1. 支払利息	2,161	
2. 賠償責任補償費	304	
3. 匿名組合投資損失	2,260	
4. 雑損失	1,230	5,956 0.1
経常利益		191,386 2.7
VI 特別利益		
投資有価証券売却益	14,816	14,816 0.2
VII 特別損失		
1. 固定資産売却損	9,516	
2. 投資有価証券評価損	7,197	16,713 0.2
税金等調整前中間純利益		189,488 2.7
法人税、住民税及び事業税	105,278	
法人税等調整額	4,197	109,476 1.5
少数株主利益		1,881 0.0
中間純利益		78,130 1.2

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	189,488
のれん償却額	33,032
減価償却費	48,673
賞与引当金の増加額又は減少額	33,121
退職給付引当金の増加額又は減少額	6,418
その他の引当金の増加額又は減少額	△13,108
受取利息及び受取配当金	△7,300
支払利息	2,161
売上債権の増加額又は減少額	269,873
たな卸資産の増加額又は減少額	△61,194
仕入債務の増加額又は減少額	△201,316
未払消費税等の増加額又は減少額	△41,600
その他の資産の増加額又は減少額	△27,683
その他の負債の増加額又は減少額	△67,465
その他	5,589
小計	168,690
利益及び配当金の受取額	7,303
利息の支払額	△2,161
法人税等の支払額	△183,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,537

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△52
定期預金の払戻しによる収入	4,591
有形固定資産の取得による支出	△59,207
差入保証金の支払による支出	△8,628
新規連結子会社株式の取得による支出	△127,268
その他の投資の取得による支出	△575
その他	35,170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,970
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△120,000
配当金の支払額	△91,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,188
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4
V 現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△376,691
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,374,882
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,998,190

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(単位: 千円)

	メカトロ 関連事業	ファシリテ イ関連事業	コンテンツ サービス事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,136,922	3,162,532	948,631	7,248,087	—	7,248,087
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	1,091	13,264	14,355	(14,355)	—
計	3,136,922	3,163,624	961,896	7,262,443	(14,355)	7,248,087
営業費用	2,875,421	3,101,263	986,996	6,963,682	128,511	7,092,193
営業利益	261,501	62,360	(25,100)	298,761	(142,866)	155,894